

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 6 月 14 日 (2007.6.14)

【公開番号】特開 2005-304782 (P2005-304782A)

【公開日】平成 17 年 11 月 4 日 (2005.11.4)

【年通号数】公開・登録公報 2005-043

【出願番号】特願 2004-125831 (P2004-125831)

【国際特許分類】

A 6 1 B 6/03 (2006.01)

G 0 1 T 1/00 (2006.01)

G 0 6 T 1/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 6/03 3 2 1 Z

A 6 1 B 6/03 3 1 1

G 0 1 T 1/00 B

G 0 6 T 1/00 4 0 0 B

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 4 月 23 日 (2007.4.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

放射線源から照射された放射線を検出する検出器を有する放射線画像撮影装置であって

、

前記放射線源から前記検出器の方向へ向けて照射される放射線に対して被検体を相対的に回転させる回転手段と、

前記回転手段による所定の回転区間において、画像再構成のための放射線データを前記検出器より取得する取得手段と、

被検体に対して、前記回転手段の回転軸と直交する観察方向を設定する設定手段と、

前記設定手段で設定された観察方向に基づいて、前記取得手段における前記所定の回転区間の位置を決定する決定手段とを備えることを特徴とする放射線画像撮影装置。

【請求項 2】

前記回転手段は、被検体を回転させることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 3】

前記決定手段は、前記観察方向と前記放射線源からの放射線の照射方向とが直交する回転位置を前記所定の回転区間の開始位置とすることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 4】

前記観察方向として 2 つ以上の観察方向が設定された場合は、交差する角度が最大となる 2 つの観察方向がなす角度を 2 等分する方向と前記放射線源からの放射線の照射方向とが直交する回転位置を前記所定の回転区間の開始位置とすることを特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 5】

前記設定手段は、ユーザに観察方向を指定させるユーザインターフェースを備えること

を特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 6】

前記設定手段は、ユーザに撮影部位を指定させるユーザインターフェースを備え、
該ユーザインターフェースを介して指定された撮影部位に応じて観察方向を設定することを特徴とする請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 7】

放射線源から照射された放射線を検出する検出器と、被検体を相対的に回転するための回転手段とを備えた放射線画像撮影装置の制御方法であって、

前記放射線源から放射線を照射しながら前記回転手段を回転させる回転工程と、

前記回転工程における前記回転手段の所定の回転区間において、画像再構成のための放射線データを前記検出器より取得する取得工程と、

前記被検体に対して、前記回転工程における回転の回転軸と直交する観察方向を設定する設定工程と、

前記設定工程で設定された観察方向に基づいて、前記取得工程における前記所定の回転区間の位置を決定する決定工程とを備えることを特徴とする放射線画像撮影装置の制御方法。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の放射線画像撮影装置の制御方法をコンピュータに実行させるための制御プログラム。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の放射線画像撮影装置の制御方法をコンピュータに実行させるための制御プログラムを格納した記憶媒体。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

上記の目的を達成するための本発明による放射線画像撮影装置は以下の構成を備える。
すなわち、

放射線源から照射された放射線を検出する検出器を有する放射線画像撮影装置であって

、
前記放射線源から前記検出器の方向へ向けて照射される放射線に対して被検体を相対的に回転させる回転手段と、

前記回転手段による所定の回転区間において、画像再構成のための放射線データを前記検出器より取得する取得手段と、

被検体に対して、前記回転手段の回転軸と直交する観察方向を設定する設定手段と、

前記設定手段で設定された観察方向に基づいて、前記取得手段における前記所定の回転区間の位置を決定する決定手段とを備える。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、上記の目的を達成するための本発明による放射線画像撮影装置の制御方法は、

放射線源から照射された放射線を検出する検出器と、被検体を相対的に回転するための回転手段とを備えた放射線画像撮影装置の制御方法であって、

前記放射線源から放射線を照射しながら前記回転手段を回転させる回転工程と、

前記回転工程における前記回転手段の所定の回転区間において、画像再構成のための放

射線データを前記検出器より取得する取得工程と、

前記被検体に対して、前記回転工程における回転の回転軸と直交する観察方向を設定する設定工程と、

前記設定工程で設定された観察方向に基づいて、前記取得工程における前記所定の回転区間の位置を決定する決定工程とを備える。